

環境配慮型製品の開発

環境負荷を低減した製品を開発しています。

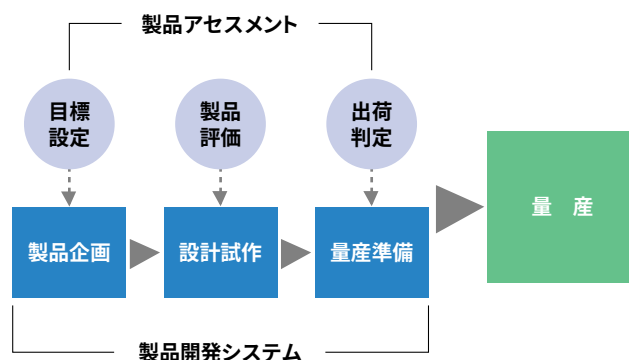
先進技術を地球のために

TDKでは、素材技術を核としてこれまでに培った高度なテクノロジーを結集。鉛を含まない製品（鉛フリー製品）をはじめ、使用部材を最小限に抑えた省資源製品、電気自動

車用バッテリーなどの省エネルギー製品等、数多くの環境配慮型製品の開発を行っています。こうした製品づくりを通して、地球環境保全に大きく貢献しています。

製品アセスメントの導入

製品アセスメントとは、製品の開発・設計段階からそのライフサイクルにおける環境への影響を評価し、より環境負荷の少ない製品（環境配慮型製品）づくりを行う手法です。TDKでは、環境配慮型製品の開発を効率的かつ全社統一基準で進めるため、1997年に製品アセスメントの導入を決定し、1年間の準備期間を経て、1999年度から国内での運用を開始しました。さらに2000年度から海外で開発される製品に対しても製品アセスメントを適用するための準備を進めています。



従来の製品開発システムの中に製品アセスメントを導入することで、企画段階からさまざまな環境面での評価が行われ、製品のライフサイクルを通じた環境負荷低減が可能になります。

グリーン購入の推進

環境に配慮した製品づくりを行うには、使用される部材や部品・原料などの調達資材も環境に配慮したものであることが必要です。TDKでは、グリーン購入を積極的に推進するためにグリーン調達基準を定め、1999年度より全社的に取り組んでいます。製品アセスメントと合わせ、環境配慮型製品の開発に効果を上げています。



環境配慮型製品の一例

■有害物質の使用回避

積層セラミックコンデンサ、積層チップインダクタ

高度な素材技術により、鉛を含んでいません。また、鉛フリーはんだでの接合にも対応した耐熱性を確保しています。



■再生資源の利用

VHSビデオカセットテープ

カセットハーフに再生樹脂を使用しています。また、省資源化のために強度を維持しつつ可能な限りプラスチックを薄くしています。



■再資源化への対応

トランス

使用部材を最小限化し、かつ製品の解体を容易にしました。もちろん最適設計によって省エネルギー性にも配慮しています。



◀ 環境配慮型製品

記録メディア製品

塩化ビニルを含まない包装フィルムへの変更を進めています。既に90%以上の商品が対応、引き続き全製品切替えに取り組んでいます。



材質表示
(ポリプロピレン)

■消費エネルギーの削減

角型偏向ヨークコア

従来の丸型形状から角型にすることで高効率化を実現。偏向ヨークコアでの消費電力が30%削減可能です。



◀ 環境配慮型製品

■包装材料の配慮

BSアンテナ

包装形態を最適化し、発泡スチロールを使わず、段ボールのみで十分な包装強度を実現しました。取手部分のプラスチック部品等も廃止しています。

